

学位被授与者氏名	趙 書叡
論文題目	中国における養育費履行に影響する要素 一遼寧省A市離婚家庭の子どもたちの生活費用、進学費用の親の分担に関する実態調査
論文審査結果の要旨	<p>同じアジア圏である中国と日本を比較しながら、離婚後の養育費の支払い状況を阻害する要因は何かを問おうとした研究あったが、コロナ禍の影響を受け当初の計画通りに研究を進めることが困難を極めた。しかしそのような状況にあるにも関わらず、「できること」を工夫しながら地道に研究を進めることができた成果が丁寧にとまとめることができたと言える。分析にあたっては日本への留学を通して学んだ社会福祉学に基づいており、事例分析においても養育費をめぐる何が問題であるのかを探索的に分析をすることができた点は評価に値する。</p> <p>ただし、あとがきの文末において筆者自身が述べているように、当初想定していた日本の養育費算定表を活用することで中国の養育費支払い問題を解決することにつながるのではないかと考えていたが、研究の最終段階でアメリカの養育費制度の方がソーシャルワーク実践的であり、インタビュー内容から明らかになった養育費をめぐる問題を解決することが可能だと考えるに至った点については、先行研究のレビューからリサーチクエスチョンを練り上げていく上で若干の不十分な点があったのではないかと考えられる。しかし、この点については本研究論文の学術的評価を下げるまでは言えない。ぜひアメリカの養育費制度を参考にして、改めて論文の再構成を行い、大学院紀要等で発表していただくことを期待したい。</p> <p>2022年2月12日に、オンライン方式において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答のうちに、全員一致で当該論文が修士（人間関係学）として十分な内容であると判定した。</p>